

Nihon Ongaku Shudan (Pro Musica Nipponia)

日本音楽集団

第八十七回◆定期演奏会



一九八五年一月二十八日〔月〕午後七時開演
芝 a b c 会館ホール
■主催―日本音楽集団・現代邦楽協議会

創立二十周年記念シリーズ

■二十周年の最後に

一九八四年度最後の日本の公演をもって、日本音楽集団二十周年記念公演をしめくくらせていただきます。

団創立当初は現代邦楽の高揚の時期で、日本音楽集団はその高揚の原動力の一端を担い、又その恩恵を受けて大きくなり、活動も多岐にわたって拡がってきました。

しかし団は大きくなったとはいえ、発足当初からの手弁当の寄り合いであることはあまり変っていません。

団の内外とも、あの頃現代邦楽の第一線に居た人たちが今でもほとんど第一線に居て、第一線の人口が厚くなっているわけですが、邦楽器の愛好者がここ数年増えず、教授者や楽器商にとって深刻な問題となっています。中・高生が進学熱へ行く為か、特に箏の若い弟子が居なくなっています。

現在箏の演奏や教授をしている人は、中学生か高校生の頃夢中になって箏を弾いていたような人達ですから、十年、二十年先には若い演奏家が極めて手薄になるのではないかと、いう危惧があります。

日本音楽集団も世間の情勢の変化に対して、これからどう飛躍すべきか、今真剣に考えております。どうかこれからも、きびしいご批判とお励ましをお願いいたします。

尺八 宮田耕八朗

プログラム

一、日本楽器による幻想曲

長沢勝俊 作曲

琵琶が比較的重要な部分をしめ、これに他の邦楽器群が加わる形をとっています。曲ははじめに琵琶のふるさとともいわれるペルシャ風の音階ではじまり、それはやがて日本の音階に同調されて発展していきます。最後にもう一度琵琶による回帰が行なわれ曲は終ります。(一九七四年一月、NHK邦楽技能者育成会委嘱)

長沢勝俊

- 尺八 (I)宮田耕八朗 (II)竹井誠
- III米澤浩
- 琵琶 田原順子
- 箏 (I)花房はるえ (II)松本和美
- 大島菜穂子

二、木もれ陽〔初演〕 内田とも子 作曲

木もれ陽——木々の枝葉を透かしてさしこんでくる光。地面に、しま模様やだんだら模様をつけていく。直接太陽を見るよりも強烈な光を感じさせる時もある。手の届かない所からさしてくる光。とても身近に感じさせてくれる。ちよつと不思議な感じ、しませんか？

内田とも子

- 箏 尺八 竹井誠
- 三味線 米澤浩
- 琵琶 田原順子
- 二十絃箏 滝田美智子
- 打楽器 熊沢栄利子
- 尾崎太一

三、六連星

長沢勝俊 作曲

六連星とは昴星座のことです。初冬に入って日没後の東の空中に光放っているのが昴星座で、その六個をつないだ形が玉かざりに見えるところからその名前がついたと言われています。私の好きな唄の一つに次のような盆おどり唄があります。(月は東に昴は西に、いとし殿御は真中に)。素朴に唄われた恋の唄ですが、人工衛星がとびかう時代になっても月や星は私達に夢とロマンスを与えてくれます。星に想いをはせた往時の人々をしのびながら、箏と尺八に託して私の「すばるのうた」をうたってみたいと思います。(亀山香能委嘱、一九七九年二月)

長沢勝俊

- 尺八 宮田耕八朗
- 箏 白根さゆ子

四、新越後獅子〔改訂初演〕 大嶽和久 編曲

越後獅子と言えば長唄の名曲の一つですが、この曲は地唄の越後獅子が基になって書かれています。当時、長唄、地唄に拘らず、他の分野の曲を演奏したり一部を取り入れたりといった交流はよく為された様ですが、この越後獅子の様に長唄独自の形式に基づき書き変えられ、後世に残り現在も尚多くの人達に親しまれている曲はあまり多くありません。今回この名曲越後獅子を編曲するにあたり、新たな編成によって、いかにして新鮮な息吹きを与え、新しい一面を引き出せるかが、当然の如く大きな課題となりました。曲は、前弾きに始まり浜唄の一節、さらしの手事など一般的に有名な旋律を引用し、古典の形式に拘らず編曲を試みました。集団の皆様により、この新越後獅子がどの様に演奏されますか、大変楽しみにしております。

大嶽和久

- 箏 尺八 望月太八
- 三味線 (I)米澤浩 (II)竹井誠
- 琵琶 野口美恵子
- 打楽器 田原順子
- 十七絃 (I)花房はるえ・島崎春美
- (II)滝田美智子・熊沢栄利子
- 松本和美・大島菜穂子
- 尾崎太一・高橋明邦

■一九八五年度 定期会員募集中

日本音楽集団では従来の友の会制度を改め、定期会員として新たに募集をしています。お申し込み頂きますと、年間の定期演奏会がフリーパスになる(定期券)を差し上げます。ますます便利でお得になりました。

会費 八、〇〇〇円

- 第八八回定期 四月二四日(水) ABC会館ホール
- 糸を紡ぐ。竹を鳴らして風になる。名手たちの対話。
- 第八九回定期 六月二〇日(木) 朝日生命ホール
- ヨーロッパ大興奮！ベルリンで鳴り響いた二十五分間の大拍手！三木稔監修の新様式。大作・巨火(はて)をトリに据えた(「ニューカケラパフォーマンス」)日本て再現。
- 第九〇回定期 九月二六日(木) ABC会館ホール
- 名人たちが創りあげた伝統の美学が、現代の名手たちの手によって蘇る。
- 第九一回定期 一一月二二日(月) 朝日生命ホール
- 自由の大地・北海道をテーマにした(北の詩(うた))(三木稔)を作曲者自らの指揮により東京初演。他に(古代舞曲によるパラフレズ)ほか。
- 第九二回定期 二月七日(金) ABC会館ホール
- 科学技術の発達は、楽器の素材にも変化をもたらした。(伝統的な素材との比較考現学。

和服のお手入れは当店におまかせ下さい。

大切なお着物、心をこめて

おあずかりいたします。

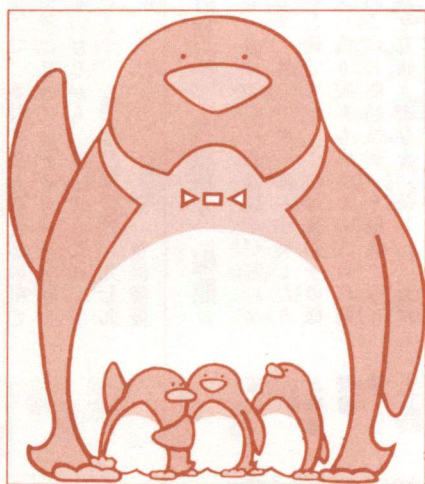
染物・洗張・しみぬき・生々洗



倉 小倉屋呉服店

東京都三鷹市下連雀4丁目8番地17号

電話 0422-45-1422



あなたの生活は 守られていますか！

損害保険の安田火災はあなたの暮らしをワイドに
補償致します。

あなたの保険設計はコンサルタント明和損保にお
まかせ下さい。

明和損害保険企画

RM 小笠原 明男 オフィス ☎937-0547
安田火災海上保険(株)板橋支社 ☎962-7311

積立動産総合保険新発売！